

第1回拠点校研修会の内容を2学期の取組に生かしましょう！

講演では、鶴田清司先生から、聞き手にも考えの筋道が分かるように伝えること、根拠の違いを明確にしながらかくことの大切さについて具体的にご指導いただきました。また、拠点校の取組を基に各校の学力向上策について協議を行いました。

参加された先生方が中心となり、これらの内容を校内研修会等でぜひ広めていただきたいと思います。

がんばろう
富山の先生！



平成29年度 第1回拠点校研修会(H29.7.28)

「『根拠・理由・主張の3点セット』による論理的思考力・表現力の育成
～いま、求められる『資質・能力』と言語活動の充実のために～」

都留文科大学 教授 鶴田 清司 先生



自校の学力向上策を振り返り、 2学期からの実践に生かしましょう！

拠点校研修会
班別協議 より



講演後、小学校、中学校に分かれ、拠点校、希望校の先生方の混合グループで班別協議を行いました。

拠点校からワークシートや手引き等の成果物を基に工夫した取組が紹介され、各校の学力向上策の成果や課題等について活発に情報交換がなされました。

話し合いの目的を明確にしたり、小中の9年間を見通したカリキュラムを連携して作成したりしているなどの拠点校の取組を聞いて、本校の取組を振り返るよい機会となった。
(中学校・希望校)

参加者のアンケートより

自校の子供の発言には、生活経験と結び付けて自分のこととして考えることが足りないと分かった。他校の取組からも、「学び合い」を生むための学習課題や学習形態の工夫等、参考になることが多く、2学期からの実践に役立てたい。
(小学校・拠点校)

「成長の保障」ということで、学年末までに子供たちができるようになりたい目当ての一覧が紹介された。本校でも、子供たちがどのような手立てで、どのように成長できたのかを具体的に述べられるように、研修主題に合わせて作成したい。
(小学校・拠点校)

3点セットを活用し、自分の考えを論理的に表現する言語活動を充実させましょう。

根拠を基に自分の経験と関連付けて判断し、考えることで、自分のこととして理解できるようになります。また、その考えを根拠や理由と合わせて友達に対して説明することで、内容の説得力が高まります。

根拠と理由との
違いは？

【根拠】 具体的な事実・データ、教科書等書かれていること…だれでも同じもの（客観的）
【理由】 事実・データの解釈、類推
…一人一人違うもの（主観的）

①「根拠」と「理由」の違いを明確にし、筋道立てて考える。

教師自身が「根拠」と「理由」の違いを捉え、子供に問い返し、意識させましょう。

「根拠」を意識させるために
T:どこから分かりますか。
C:〇ページの△行目に…

「理由」を意識させるために
T:なぜそう思ったのですか。
なぜそう言えるのですか。

②自分の既知の知識や生活経験を基に、理由を考える。

知っていることや似たようなことがなかったかを問いかけ、根拠と関連付けて考えさせましょう。

子供の似たような経験から類推させることが大切です。
「ぼくも～したことがあるから…」

自分と異なる考えを知ること、自分の足りないところに気づき、より考えが深くなります。

3点セットの具体例 課題「与一は、扇を射切る自信があったか、なかったか」（「扇の的」中学校2年国語科）

【主張】

自信があった。

【根拠】

矢が飛んでいく様子を「浦響くほど長鳴りして」と表現している。

【理由】

自分の打球の音が球場に響くと、ホームランになると確信できる。

【主張】

自信がなかった。

【根拠】

扇がしばらくの間も静止していない様子を「扇もくしに定まらずひらめいたり」と表現している。

【理由】

波があり、扇は揺れている。しかも、与一と扇は球場のホームベースから外野席に近いところまで離れている。そんな状態で扇を射るのは無理だと思うはずだ。

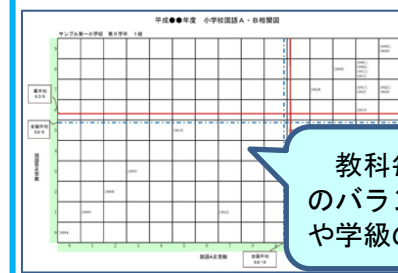
古典においても既知の知識や生活経験と結び付けることで、自分のこととして理解し表現することができます。

全国学力・学習状況調査 分析支援ソフト 「我が校の学力・学習診断ソフト」の活用を！

自校の実態を把握し、
授業改善に生かしましょう。



教科区分毎に全問題を正答率順に並べ替えて、自校の強み弱みを見付けましょう。



9月配布

教科毎のA「知識」、B「活用」のバランス等、児童生徒一人一人や学級の特徴を把握しましょう。

質問紙の項目毎に、自校と全国、県を比較して、グラフにし、学習状況の実態を把握しましょう。

